

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 がん検診従事者資質向上事業費（国補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 保健医療課健康推進室がん対策係 電話番号：058-272-1111（内 2559）

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 142 千円（前年度予算額：142 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	142	71	0	0	0	0	0	0	71
要求額	142	71	0	0	0	0	0	0	71
決定額	142	71	0	0	0	0	0	0	71

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

子宮頸がん検診及び肺がん検診の体制及び精度の向上のため、細胞診検査従事者の確保と資質の向上が必要である。

（2）事業内容

子宮頸がん検診及び肺がん検診等における細胞診に従事する者（細胞検査士等）に対し、研修会を年3回程度実施する。

（3）県負担・補助率の考え方

健康診査管理指導等事業実施のための指針（平成20年3月31日厚生労働省健康局総務課長通知）において、都道府県が実施主体とされており、県が主体となり実施することが必要である。

・都道府県健康対策推進事業費（1）活用 国負担 1/2 県負担 1/2

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
需用費	2	紙代、事務用品
役務費	2	通信運搬費
委託料	138	研修会の開催に係る報償費、旅費等
合計	142	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県がん対策推進計画：がん検診従事者に対する研修の実施と明記
- ・健康診査管理指導等事業実施のための指針（平成20年3月31日厚生労働省健康局総務課長通知）

(2) 国・他県の状況

健康診査管理指導等事業実施のための指針（平成20年3月31日厚生労働省健康局総務課長通知）

(3) 後年度の財政負担

継続実施

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県臨床細胞学会に委託して実施しているが、この団体は、専門医や細胞診断士で構成されており専門性が高く、かつ、医療機関等関係機関との連携が図れる団体である。このような団体に委託実施することにより効率的に事業を実施できる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

肺がん検診及び子宮頸がん検診の細胞診に従事する細胞診断士等を対象に研修を開催し、その資質を向上させ、がん検診における細胞診の精度を向上させることを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜県内で細胞診に従事する細胞診断士が毎年受講することにより資質向上をねらうものであるため、受講人数の増減等がある。このため、定量的な目標値は設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）研修会の開催

R1.7.28(日)、R1.10.5(土)、R3.1.25(土) 3回開催

延べ167名参加

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

細胞診に関する最新の知見を学ぶことができ、細胞診の精度が向上することが期待される。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	肺がん、子宮がん検診において細胞診はスクリーニングの決め手となる診断方法であり、見落としがないよう、精度を高く維持することは重要である。細胞診断士がその能力を保つためには常に新たな知見に基づく研修が必要であり、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	研修受講により細胞診断士の資質向上が見込まれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	岐阜県臨床細胞学会に委託して実施しているが、この団体は、専門医や細胞診断士で構成されており専門性が高く、かつ、医療機関等関係機関との連携が図れる団体である。このような団体に委託実施することにより効率的に事業を実施できる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 細胞診断士は常に新たな知見に基づく研鑽が必要な職種であり、がんの診断に欠くことはできない職種でもある。今後、がん検診が推進されて検診受診率の向上、がんが判明する患者が増えることが予測されるため、今後も継続実施をしていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	